

みんじん堺



第72号

令和7年1月発行

堺市民生委員児童委員連合会

堺市堺区南瓦町2番1号

072 (232) 5420

発行責任者 堺市民生委員児童委員連合会 会長 中辻さつ子

編集 研修・広報委員会



旧浄土寺九重塔 石造り（花崗岩）で均整のとれた美しさがある（昭和30年2月重要文化財指定）

「お陰様で」という言

葉は、日常生活からビ
ジネスシーンまでよく

使われている表現の一つです。相手に感謝を伝える際に、この言葉をそえて言うことで気持ちが伝わり、良好な関係を築く手助けになっていると思います。

「お陰様で」は他人から受けた助力や親切に対して、感謝の気持ちを表す言葉です。元々は神仏の加護という意味の「御陰」と、「敬う」気持ちを表した「様」をつけた「御陰様」という言葉から転じたものといわれています。

「感謝の気持ち」きちんと伝えている？



私たちは日ごろから常に謙虚な気持ちで、相手へのサポートや支援に感謝されるように委員活動をしたいものです。このことは決して求めるものではありません。それによりお互いの信頼関係が生まれ、維持されることが大切です。

人として些細なことでも、感謝の気持ちを忘れずに相手に伝えるようにしましょう。

連合会副会長 佐々木 和郎

地域住民にとって必要 不可欠な存在として



年頭所感

欠員の無い一斉改選を願う

堺市民生委員児童委員連合会 会長 中辻 さつ子



堺市民生委員児童委員の皆さま、2025年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、平素から地域の身近な相談者として、日々多岐にわたる活動をされていますこと

に、感謝と敬意を表します。

さて、昨年は元日から「令和6年能登半島地震」に始まり、その後も各地での地震や線状降水帯による豪雨災害、異常なほどの夏の猛暑と、自然災害の多い年でありました。被災地はいまだ復旧道半ばであり、被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。自然はどこで牙をむくかわかりません。お互い防災意識をしっかりと持ち、活動していきましょう。

また、昨年はスポーツイヤーで「パリ2024オリンピック・パラリンピック」ではたくさんのメダルを獲得しました。アメリカ大リーグ大谷選手の「50本塁打 50盗塁」の快挙など日本人選手の活躍に、日本人として誇りを持った年でもありました。

今年4月13日から「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」が184日間、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに夢洲で開催されます。世界中の人がたくさん関西に来られることでしょう。

私たち民生委員児童委員は、3年に1回の一斉改選の年です。全国的になりて不足が問題視されています。校区の自治連合会長、役員、町会長、民生委員児童委員が関係を密にして、無事校区予備推薦会議に欠員の無いよう推薦できますこと、よろしくお願ひします。未来永劫、民生委員児童委員が地域住民にとりまして必要不可欠な存在でありますように。2025年が皆さまに健康でおだやかな年でありますことを祈念し、年頭のあいさつといたします。

SDGs目標

すべての人に健康と福祉を

民生委員児童委員の皆さまと

堺市社会福祉協議会 会長 木村 正明



新年明けましておめでとうございます。堺市民生委員児童委員連合会の皆さまにおかれましては、新しい年をお健やかに迎えのとお慶び申し上げます。旧年中は会員会費制度や共

同募金運動など、本協議会が推進する諸事業に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、日頃より地域で支援を必要とされている方々の身近な相談相手としてご尽力・ご活躍いただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和6年は能登半島地震をはじめ大雨による被害など自然災害が多い一年となりましたが、甚大な被害を受けた被災地の生活再建への取り組みが今もなお続けられています。本協議会でも、被災地のニーズにあわせ全国の社会福祉協議会と連携し被災地の復旧、復興のための支援に努めているところです。

そのような中、令和6年4月には複雑化・深刻化する社会的な孤独・孤立の問題について総合的な対策を推進するため、「孤独・孤立対策推進法」が施行され、民生委員児童委員の皆さまの地域における平時からの見守りやふれあい活動の重要性が再認識されています。

本協議会では、「堺あったかぬくもりプラン4（第4次堺市地域福祉計画・第6次堺市社会福祉協議会地域福祉総合推進計画）」に基づき、地域福祉を総合的に推進しています。“誰一人取り残さない持続可能な社会の実現をめざす”SDGsの目標のひとつ「すべての人に健康と福祉を」の達成に向けた取り組みを、貴連合会をはじめ皆さま方とともに推進してまいりたいと考えております。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、堺市民生委員児童委員連合会のますますのご発展と皆さまのご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第72号おくじ

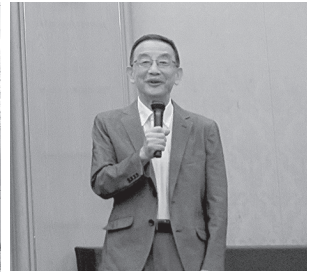
- 2 年頭所感
 - 堺市民生委員児童委員連合会
 - 会長 中辻 さつ子
 - 堺市社会福祉協議会
 - 会長 木村 正明
- 3 近畿ブロック府県・指定都市民生委員・児童委員関係事業会議
 - 諸課題への取組方策探る
- 6 校区めぐり 堺区（6校区）
- 7 中区（4校区）
- 8 東区（3校区）・美原区（2校区）
- 9 西区（4校区）
- 10 南区（7校区）
- 11 北区（5校区）
- 12 民生委員児童委員協議会が街頭募金
 - 御霊よ 安らかに/編集後記

堺市開催

テーマごと活発に情報交換

諸課題への取組方策探る

令和6年度 近畿ブロック府県・指定都市民生委員・児童委員関係事業会議



▲小笠原慶彰関西福祉科学大学教授

▲あいさつをする木村正明堺市社協会長、(右に)高山科子全民児連副会長、平井庸元全社協民生部長

堺市民児連は令和6年10月3・4日の両日、ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺で近畿各府県・指定都市の民生委員児童委員や全民児連・全社協および堺市など関係機関等131人が出席して、「令和6年度近畿ブロック府県・指定都市民生委員・児童委員関係事業会議」を開催しました。

第一日目は主催者あいさつに続き、高山科子全民児連副会長と竹下泰夫堺市健康福祉局長、木村正明堺市社協会長の来賓あいさつのあと、平井庸元全社協民生部長が「基調報告」し、「開催市堺市からの発信」として小笠原慶彰関西福祉科学大学教授による講演(演題「大阪における方面委員制度の歴史～林市蔵の役割を中心として～」)が行われました。

第二日目は三つの分科会にわかれて、それぞれの協議テーマをテーマに情報交換を行ったあと、全体会として分科会の報告ののち、高山科子氏と平井庸元氏から講評があ

りました。

最後に、次回開催地の滋賀県から小林江里子同県民児協連会長が挨拶をして閉会しました。

各分科会での協議テーマは以下のとおりです。

【第1分科会】

次期一斉改選を控えて～新たななりて確保への取り組み～

【第2分科会】

子育て・子育てを支える地域づくりに向けた児童委員・主任児童委員の連携への取り組み～主任児童委員制度創設30周年を迎えて～

【第3分科会】

民生委員児童委員・主任児童委員活動強化のための研修等の取り組み

旧浄土寺九重塔



表紙写真

元は、大阪府南河内郡赤阪村小吹に明治初年まで所在した「浄土寺」にありました。台石の正面には、「嘉元二二(四)年(1306年)丙午」の年号が刻まれており、この年の製作と考えられています。軸石(塔身)の正面に阿弥陀仏(写真右下)を浮き彫りにし、他の三面には梵(ほん)字が刻まれています。高さ約3.5メートル。

現在、大仙公園「黄梅庵(おうばいあん)」茶室前庭園に建っています。

**分科会での事例発表と
他府県・指定都市の活動**



【第2分科会協議題】

【第1分科会協議題】

次期一斉改選を控えて
～新たななりて確保への取り組み～

趣 旨 令和4年12月の一斉改選において民生委員児童委員の定数は、初めて24万人を超える状況から、福祉ニーズのひろがりを見せる一方、全国的に約15,000人の欠員が明らかになり、なりて確保が喫緊の課題になっています。

次期（令和7年）一斉改選に向け、委員活動への理解に向けた周知活動等、地域の実情に合わせた自治体と民児協の一体的な取り組みなどについて。

座 長：宮前久数副会長（東区・白鷺校区）
進 行：天見文昭理事（美原区・黒山校区）
事例発表：琴谷達郎理事（堺区・三宝校区）
滋賀県5人 京都府4人 大阪府3人
兵庫県4人 奈良県3人 和歌山県4人
京都市2人 大阪市5人 神戸市4人
堺市7人 全社協1人 計42人

■堺市の事例発表内容（要旨）

堺市民児連では、市民へのPRと委員の負担軽減の理由から、堺市民児連ホームページを令和2年10月から運用しています。若者をはじめ多くの市民に民生委員児童委員活動や福祉活動に関心を持ってもらえるようにしています。

市民への啓発活動としては、広報誌『みんじれん堺』の年2回発行や、小学校での「民生委員児童委員について」の出前講座などもあります。

本市では小学校区ごとに民生委員児童委員会を組織しており、その校区の住民の中から委員候補者を選出しています。特に地域の各町会・福祉委員会組織との協働も考え、まず初めに町会からの推薦をお願いしています。

**子育て・子育てを支える地域づくり
に向けた児童委員・主任児童委員
の連携への取り組み**

～主任児童委員制度創設30周年を迎えて～

趣 旨 令和6年1月に主任児童委員制度創設30周年を迎えました。改正児童福祉法により、令和6年度から子育てに困難を抱える世帯を包括的に支援する「こども家庭センター」の市町村への設置が努力義務となりましたが、設置動向を確認しつつ区域担当の児童委員、主任児童委員のさらなる連携強化を図り、地域ぐるみで子ども・子育て家庭の支援体制づくりを行っていくうえでの取り組みについて。

座 長：伯井正 副会長（美原区・美原北校区）
進 行：西野則子理事（中区・東陶器校区）
事例発表：嶋原洋子理事（主任児童委員長）
滋賀県3人 京都府2人 大阪府4人
兵庫県5人 奈良県4人 和歌山県5人
京都市2人 大阪市4人 神戸市3人
堺市5人 全社協1人 計38人

■堺市の事例発表内容（要旨）

主任児童委員は校区委員会の一員であるため、月1回開催の定例会で、子どもや子育て家庭に関する課題、学校など関係機関との意見交換で得た内容等を委員会内の他の民生委員児童委員と情報交換しています。支援の必要な世帯や児童には他の委員と連携して見守り・声かけをしています。

また、子育てサロンなども委員会の他の民生委員児童委員と協力しながら運営しています。

児童養護施設の未就学児（3～6歳）対象の「一日里親事業」では、主任児童委員らが親代わりになってレクリエーションを楽しみます。「要保護児童対策地域協議会」には、区民児協会長と各区主任児童委員長が委員として参加しています。



【第3分科会協議題】

民生委員児童委員・主任児童委員活動強化のための研修等の取り組み

趣 旨 近年、地域における生活課題・福祉課題は、複雑・多様化しています。民生委員児童委員、主任児童委員が地域住民に寄り添った活動を行うために、個々の民生委員児童委員、主任児童委員の福祉施策等に関する知見を向上するなど、日々の研さん・活動の強化が求められています。

府県・指定都市民児協として、民生委員児童委員、主任児童委員活動強化のために実施する研修や研さんのための取り組みについて。

座 長：木谷利治副会長（南区・槇塚台校区）
 進 行：山本 保理事（西区・鳳南校区）
 事例発表：増田紀夫理事（北区・金岡校区）
 滋賀県4人 京都府3人 大阪府5人
 兵庫県5人 奈良県5人 和歌山県4人
 京都市2人 大阪市3人 神戸市4人
 堺市6人 全社協1人 計42人

■堺市の事例発表内容（要旨）

堺市民児連では、新任委員向け研修を2種、1期3年を経た中堅委員向け研修を1種、正副会長・理事向け研修を1種、単位民児協会長（委員長）向け研修を1種、全委員対象の研修を1種、合計6種類の研修を定例で実施しています。

専門委員会は生活・児童・高齢者・障害者福祉委員会と主任児童委員会を組織し、時宜にあったテーマで研修しています。

令和元年に「堺市版活動方策」を初めて作成し令和4年の一斉改選にあわせ、新たな方策を策定しました。委員一人ひとりが民生委員児童委員活動を展開するにあたっての共通の行動指針や重点目標を示し、地域に根ざした活動の展開と一体感の醸成につなげています。



（小笠原慶彰教授の講演要旨）

大阪府の方面委員制度が全国の方面委員制度のモデルです。制度発足時の府知事・林市蔵が民生委員制度への転換に大きく関与したことはあまり知られていません。

方面委員制度創設時から林市蔵が一貫して主張したのが「無報酬の報酬」です。

林市蔵の石像は淀屋橋西詰に設置されています。

「民生委員制度創設百周年記念碑」の銘文が刻まれた石碑（淀屋橋の西岸）。その後ろに林市蔵の像が石碑を見つめるように鎮座している

他府県・指定都市の主な活動（要約）

◆第1分科会（主な情報交換内容 ①民生委員児童委員活動の周知、②委員活動の負担軽減、③前記以外の具体的な対応策）

滋賀県民児協連：琵琶っ子ミンジューの紙芝居、着ぐるみ、学校への出前授業等による認知度アップ（子どもを通じ保護者等への認知度を上げる）。**京都府舞鶴市**：FMコミュニティラジオや市の広報誌を活用し、民生委員児童委員へのインタビューや訪問活動の紹介などを通じて、民生委員児童委員活動のPRを実施。

◆第2分科会（今後の主任児童委員制度・活動のあり方などを中心に情報交換）

大阪府柏原市：図書館などで行われているこども相談や赤ちゃん運動会、子育てサロンなどの受付やお手伝い。**兵庫県養父市**：「にこにこ訪問」。おおむね3～4か月の乳児がいる家庭を、地域の児童委員・主任児童委員が訪問。子育てに関する情報提供、赤ちゃんやお母さんの健康状態を確認。

◆第3分科会（主な情報交換内容 ①これまで取り組んだ研修内容、②委員活動強化のための組織づくり、単位民児協の運営支援の工夫）

和歌山県御坊市：地区別民生委員懇談会（行政や事業者と）

各民児協で委嘱年度・専門分野・地域別に組織編制して、研修や事例紹介等の情報提供を行い、単位民児協の機能強化に努めている。

校区めぐり

□ 堺 区

第2回目の「校区めぐり」です。
前回同様、特色のある活動でいっぱい
です。

浅香山校区  校区福祉活動

当校区は、戦後住宅地として発展してきました。現在、人口は12,000人、6,300世帯で、その年齢分布は14歳以下10%、65歳以上30%弱の比率です。

福祉活動としては、民生委員児童委員会単独で小学生対象におすそ分け運動（「浅香山っ子ランド」）を展開しています。

また地域会館では福祉委員会、民生委員児童委員会が毎週土曜日に、ふれあい喫茶やスマホ相談室を開催し、高齢者に喜ばれています。近くにある看護専門学校生もボランティアとして参加してくれています。普段、若い人と話をすることがない高齢者にとっては、話し相手として大好評です。

今後は、いかにしてより多くの人に参加してもらうかが課題です。
(中辻 秀和)

三国丘校区  地理的特徴と現在の地域特性

仁徳天皇陵ができた5～6世紀ごろは、現在の標高10mあたりが海岸線で、大阪城から天王寺へとのびる上町台地から南へ低地が続く古い地層と、川が運んだ土砂からなる地層（直下型地震が心配な上町断層）の南端が、現在の堺東駅周辺。

竹内街道と長尾街道が東西に通る三国ヶ丘には、反正天皇陵やパワースポットの方違神社があります。

文教地区としての魅力で、令和7年度の小学生新入生は8クラスの予定です。

私たち18人の民生委員児童委員（うち主任児童委員1人）は、住民を高齢者・子育て支援で行政につないでいます。福祉委員会との協力行事や校区の防災訓練、運動会、夏まつり等で自治会や住民とつながり、16人が更生保護女性会会員も兼ねており、多忙な日々です。
(藤本 隆子)

榎校区  子育てぴょんぴょん奮闘記

当校区は人口17,000人あまり、世帯数約8,500。堺東駅に近く、西高野街道が通る歴史ある町です。

民生委員児童委員とボランティアとの福祉委員会では、子育て支援月2回実施の催し物が特に充実し、母子ともども盛り上がり自撮りで楽しんでいただいています。

季節ごとの催しとして2月の節分にはじまり、6月はお子様の足型をとらせていただき、それをもとにカエルの絵画を作成。すばらしい記念品ができあがりました。12月は自作の紙芝居を上演。シャボン玉が飛びかうクリスマス会、笑顔いっぱいの会場。いい思い出作りになりました。次回もお待ちしております・・・。心豊かに育ててほしいと願いをこめて♪
(山口 正恵)

英彰校区  シャルム堺第43回盆踊り大会

当校区で盆踊り大会を開催しているのは、シャルム堺だけです。私は自治会長として盆踊り、自治会、そして管理組合と居住者による出店（13店）を展開しました。おでんや焼きそばなどの食べ物や、ゲーム、輪投げなどのコーナーで楽しんでもらいました。

当マンション以外からも知人や子どもたちが来場。毎年大勢の参加者で、居住者（1,000人弱）のうち知らない人の多いことに驚かされます。コロナ禍のため3年間中止ののち復活開催しています。

子どもたちの楽しくうれしそうな様子を見ると、主催者側としてこれにまざるものはありません。

(辻 雅行)

少林寺校区  民生委員児童委員の役割

当校区は民生委員児童委員12人、主任児童委員1人で活動しています。令和2年からのコロナ禍は3年以上におよびました。在宅高齢者の生活、児童の健全育成、障害者の自立等、様々な生活課題が深刻な影響を受けました。

私たち民生委員児童委員は支援を必要とする人に寄りそい、地域の身近な相談相手、見守り役として各専門機関へのつなぎ役を求められています。

このような中、地域と連携して誰もが安心して暮らせる地域をめざし、活動していきたいと思います。

(八田 益雄)


安井校区  見守り活動でつながり実感

創立87周年の安井小学校を中心とした当校区は、約4,000世帯6,300人の人が暮らしています。高齢化率31%と高く、独居の人も増えています。「お元気ですか訪問」を中心とした見守り活動で一人ひとりをつながることの大切さを実感しています。

民生委員児童委員による「いきいきサロン」、ボランティアグループの「喫茶サロン」には、毎回40人を超える人にお越しいただき、たいへん好評です。これからも「安井校区に住んでよかった」と思っただけけるよう、皆さんと力をあわせてがんばっていきます。
(阪口 宏)

校区めぐり

□ 中 区

宮園校区  **大人になった時に住みたいと思える町をめざして**

当校区の特徴として深井駅に近く、薬局やスーパーマーケット・コンビニ、様々な病院・クリニックも徒歩圏内で交通の便もよく、かなり住みやすい町であると感じています。

地域で取り組む子ども食堂「はやおきして朝ごはんを食べよう会」は、堺市内の子ども食堂の取組モデルとして、堺市社会福祉協議会から他の地域への紹介や側面支援が行われていることが特徴として挙げられます。朝食を食べる機会が減ってきている最近の子どもたちが学校に行く前に、地域の人や学生ボランティアらと朝食を食べることができるということで、親御さんからも非常に好評です。

地域会館や集会所では、毎年11月ごろの大きなイベント「食フェス」や年末の餅つきなどがあり、高齢者から子どもたちまで楽しめるイベントが開催されていることも、すてきな取り組みです。ただ、少子化が進み小学校の全生徒数は50人以下。高齢化率30%以上となっています。

子育て世帯が入居しやすい、宮園で生まれ育った子どもたちが大人になった時に「宮園町に住みたい」と思ってもらえる町をめざし、日々がんばっています。
(藤井 勇氣)

久世校区  **高齢者の「ビューロー久世」
幼児の「久世っ子あつまれ」**

当校区は石津川流域の「平地」と、陶器川の「丘陵」を結ぶ町。明治22年から昭和30年まで、和田（南区）も含めて「久世村」を形成していました。現在は、小学校の校名等として継承されています。令和6年8月現在、世帯数7,080軒、人口は15,017人です。

高齢者への福祉活動として、月2回「ビューロー久世」を校区の会館「竹馬荘」にて、映画鑑賞・講演会・地元バンド演奏・頭の体操・健康教室などを開催。時にはコーヒーを飲みながら、穏やかなひと時を楽しんでいただいています。

子育て支援は月1回、同荘で0歳～3歳の乳幼児と親子を対象に、絵本の読み聞かせや遊びを通してふれあっています。その中で子育ての悩みなどを保育教諭の方々からアドバイスをいただき、交流の場となっています。
(池中 勝之)

東陶器校区  **地域ぐるみで元気に**

当校区は中区南東部で大阪狭山市や泉ヶ丘地区に隣接する地域です。近年、これまで農地であったところも徐々に開発され、例外なく少子高齢化が進んでいます。

元気な高齢者づくりをめざして始めた「わくわくクラブ」（ふれあいサロン）も20年を超え、今では5箇所となり、毎週どこかで行っています。また月2回のふれあい喫茶も10年を超え、毎回多くの人の参加でにぎわっています。

2年前から、東陶器小学校の総合学習の一環で、子どもたちが「わくわくクラブ」などのハート事業への運営参加や、地域の課題について学習しようとして、地域の役員やボランティア、高齢者と交流しています。おかげで、みんなお互いに元気ももらっています。
(岡部 順一)



福田校区  **盛んな福祉活動**

当校区は10人の民生委員児童委員で活動しています。約3,000世帯、人口約7,000人。8つの単位自治会が結集して、連合自治協議会が構成されています。

民生委員児童委員の活動に、自治会員・非自治会員の区別はなく連合自治会、校区福祉委員会との連携・協力のもとに、福祉分野の活動が以下のとおり盛んに行われています。

- ①お元気ですか訪問活動、②高齢者いきいきサロン（「ほんわか倶楽部」）、③子育てサロン（「親子の会タンポポ」）、④介護予防フィットネス、⑤ふれあい喫茶、⑥ふれあい食事会、⑦小学生との世代間交流、⑧青色防犯パトロール、⑨広報紙の『福田ニュース』発行（年3回）、⑩校区文化祭、⑪環境美化活動、⑫ボランティアビューロー、⑬防災ワークショップ等々。

このように、様々な活動に皆で参加しています。
(長澤 智恵子)

校区めぐり



□ 東区・美原区

日置荘校区  知識・技術の修得

日置荘は、古くは奈良時代から萩原神社を中心とした水田地帯として発展し、経済的にも恵まれた地域です。徒歩圏内に東区役所があり、子育て世代・高齢者を問わず、直接相談に出向く人も多いようです。

現在、民生委員児童委員の主な活動は月1回の「食事会」と「お元気ですか訪問」です。5年前からは毎月の定例会を利用した「学習会」および「自主研修講座」を行い、民生委員法第2条にある「(民生委員は)・・・その職務を行う上に必要な知識及び技術の修得」に努めています。このことなくして民生委員児童委員が「気づく・つなぐ・見守る」ことは不可能だと考えたからです。

各校区の民生委員児童委員一人ひとりが、問題意識を持って活動してくれることを期待してやみません。
(西川 隆喜)


日置荘西校区  地域ぐるみで取り組む福祉活動

当校区は、南海高野線初芝駅と萩原天神駅との西側に位置します。ため池(石池・九門度池・新池・坊ヶ池・灰原池)があり、小学校の運動場は灰室池というため池の上、北側にある初芝体育館も同様です。

コロナ禍の時に実施した安否確認が好評であったので、“お元気ですか活動”を開始。各町会にお願いして、月1回の回覧板が遅滞したとき連絡してくれるようにしました。

1月と8月を除き、毎週土曜日に開催しているボランティアビューローの「にこにこルーム」(ふれあい喫茶)には、更生保護女性会に参加してもらっています。

悩みは、参加者が少ないことでしたが、包括支援センターの協力を得て脳トレ、健康教室を組み込み、解消しました。
(石橋 忠泰)

野田校区  安心して暮らせる町NODA

当校区は南海高野線北野田駅の東側に位置します。穏やかな環境のもと1小学校1中学校、連携のとれた教育が実践され、子育てにはとてもよい校区です。

地域活動が盛んで、福祉委員会を中心とした活動に民生委員児童委員も協力し、地域の人たちとの交流を深めています。

高齢者向けのふれあい喫茶や食事会、体を動かす「お楽しみクラブ」や「ポールウォーキング」など、毎回多くの参加者でにぎわっています。

中学校のお部屋を借りて行っている子育てサークル「でんでん虫キッズ」は、若いパパママと未就学児のふれあいの場となっています。

これらの活動に参加くださる人がいる一方、見守りや声かけの必要な人がいるのも事実です。孤立する人が一人でも減り、誰もが安心して暮らせるNODAをめざしています。
(角本 純子)

平尾校区  つながりを大切に

当校区は美原区南端部に位置し堺市東区、大阪狭山市、富田林市、羽曳野市に隣接。面積は美原区最大の校区です。また緑が豊かで、高層ビルもなく、空が広く感じる地域です。南河内郡平尾村を所縁とする旧村と、新興の住宅がうまく融合した落ち着いた校区だと感じています。

現在の課題の一つは、お一人暮らしをされている高齢者のお買い物問題です。鉄道の駅までが遠く、バス運行のない地区もあって車を使えない人には厳しい地域です。幸い昨今、戸別配送などをしてくれる業者も増えつつありますので、将来に期待しています。

今後も新しい事象にも目を向けながら、地域のつながりを大切にする活動を進めていきたいと考えています。
(杉田 晃)

さつき野校区  変化と願い

当校区は、富田林市と羽曳野市に隣接していません。高齢化が進み、65歳以上43.7%で5歳未満2.1%です。まさに少子高齢化です。

私は民生委員児童委員になって3期目を務めています。コロナ禍がもたらした変化に「命の授業」があります。さつき野学園で9年生対象の赤ちゃん抱っこが、「美原ひがしこども園」で幼児とのふれあいが変わったことを知りました。これからも、いろいろと変わっていくのでしょうか。

「多様性」というキーワードも聞かれます。みんな異なるのですから、お互いを認め合う心優しい、いじめに苦しむ人を出さない教育をお願いしたいと思います。少なくなっている子どもです。大切にしたいのです。
(古田 陽子)

校区めぐり

□ 西 区

鳳南校区 **世代を超えた絆を大切に**

当校区は西区のほぼ中央に位置し、昔は熊野街道沿いに発展し、泉北郡の中心でした。現在、人口17,000人、小学校児童数1,000人超の大きな校区です。防災設備を有する2万㎡の鳳公園が、近隣の憩いの場となっています。校区内には4台のだんじりがあり、秋には他地区とともに鳳の町を曳行します。さらに盆踊り大会や地藏盆など、全世代が伝統・文化の継承に力を注いでいます。

4地区(村)を中心に自治会・福祉活動などを行っており、福祉ボランティアも6グループあり、毎月1回以上活動しています。

防犯・防災意識が高く、防犯灯・防犯カメラ(50以上)の点検整備と、地域防災マニュアルによる防災訓練・勉強会を毎年行い、まかないセット・トランシーバーなど多くの校区独自の資機材を持っています。

世代を超えた絆を大切に、安全・安心の町づくりに取り組んでいる校区です。(山本 保)



津久野校区 **モットーは「とりあえずやってみよう」**

「良さそうだ」「喜んでもらえそうだ」「お役に立てそうだ」ということは、「とりあえずやってみよう」をモットーに活動している当校区です。

育児支援の「子育てサークル」や、高齢者に積極的に地域と関わっていただく「おしゃべり喫茶」「イキイキサロン」はもちろんのこと、幼稚園児と高齢者との「世代間交流」、小学校へおもむいての「昔遊びの会」「(郷土史、地理、伝統文化などを学ぶ)地域学習」「認知症対策講座」など、活動の幅を広げています。

現民生委員児童委員としては、「いささか手を広げ過ぎてしまったのではないか、これでは次代の民生委員児童委員は困るのではないか」との思いもあるのですが、地域の皆さんのため、引き続きがんばります。(中野 かおる)

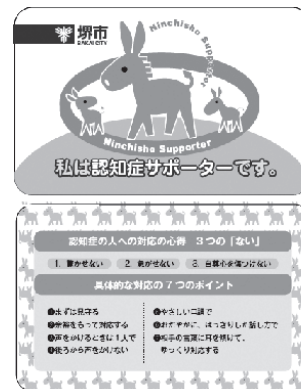
上野芝校区 **副委員長2人体制で**

当校区は、上野芝校区民生委員児童委員協議会会長が堺市民生委員児童委員連合会の職にあることから、副委員長2人体制になっています。多忙な委員長への配慮があったと思います。

認知症サポーター養成講座は、津久野中学校区内の3小学校区(津久野・家原寺・上野芝)が連携して取り組んでいます。今年も講座を小学校と中学校で行います。3小学校は各校区民生委員児童委員会と同協議会が担当し、中学校は3小学校区持ち回りで開催します。

上野芝小学校はキャラバン・メイトが5人に増えました。養成講座では子どもたちは静かによく聞いてくれ、終了後に頼みである感想文を読むのが大変楽しみです。

自治会や小学校と連携し、民生委員児童委員同士も意見交換を活発にし、楽しみながら活動しています。(門口 勤)



向丘校区 **「あ・な・た」をモットーに活動**

当校区は約4,600世帯1万人が住み、11人の民生委員児童委員が活動しています。仕事を持っている人、校区福祉委員や自治会役員を兼務されている人も多く、皆さんの「ガンバリ」に感謝しています。

「あ(明るく)・な(仲よく)・た(楽しく)」をモットーに委員活動を展開しています。コロナ禍が落ち着き、久しぶりに懇親会を楽しく再開しました。

当校区は、これまで比較的災害の少ない地域でした。今後、予想される大地震や巨大化する台風・豪雨に備え、「災害に備える民生委員・児童委員活動の10か条」を常に意識し、日ごろの民生委員児童委員活動をさらに充実させていきたいと思っています。(藤井 佳矢男)

校区めぐり

南区

竹城台校区  常に前進する町に

当校区は泉北高速鉄道泉ヶ丘駅の西側に位置し、人口約4,700人。近くには荒山公園、多治速比命神社、中央に桜のきれいな竹城公園、竹城台センターがあります。

民生委員児童委員は校区連合自治会との協力が活発でワンデー喫茶、いきいきサロン、子育てサロンなどの活動をしています。コロナ禍で停滞していた桜まつり、竹城フェスタなども再開され、プログの充実・防災活動にも力を入れています。

しかし、他の地区と同様に少子高齢化で高齢者の見守り活動などに力を入れていく必要があります。同時に、若い人・子育て世帯、新しい入居者に福祉活動・地域活動への参加呼びかけなど、積極的に進めたいと考えています。
(上田 孝之)

竹城台東校区  子どもをまん中に

当校区は連合自治会のない地域です。単位自治会やボランティアクラブが実施する各種サロンなど小さなコミュニティは、「地域福祉」というキーワードで民生委員児童委員がつないでいます。

子どもは少ないですが、公園や団地の広場で遊ぶ元気な声は、地域の大人の希望です。子ども食堂や登下校の見守りなど、顔の見える大人の関わりが増えており、子育て世代とその他の世帯が支えあう姿が見えます。また、高齢者の見守りには積極的にICTを取り入れています。災害時の安否確認にも役立つため、スマホが使える高齢者を増やし、支える側の負担軽減をめざしています。
(鈴木 有美)

若松台校区  家に閉じこもらない工夫

当校区は大きな建物や施設はありませんが、「大蓮公園」という自然豊かな場所があります。ここは住民の散歩コースであり憩いの場になっています。四季折々の景色を眺めながら、ラジオ体操に参加する人やキャンプを楽しむ家族連れが集まります。

少子高齢化で、私たちは福祉委員会と一緒に高齢者が家に閉じこもらないように、囲碁や麻雀、カラオケにボール体操、月2回の食事会等皆さんが集えて楽しく体を動かせるような工夫を提供しています。子どもたちは朝の通学路での見守りで、挨拶をしっかりとすることやコミュニケーションをとっています。

私たち民生委員児童委員は少人数ですが、みんな仲よくがんばっています。
(吉岡 ひろ子)

茶山台校区  健康に住み続けたい！

当校区は約6,000人、高齢化率36.2%。ほぼ半数近くの世帯が団地住まい。一人暮らしの人やご夫婦住まいの高齢者も多いです。「健康に住み慣れた町で暮らし続けたい」との思いに寄りそう場所として健康・医療・

介護・子育てをテーマとした拠点「茶山台ほけんしつ」があります。団地や地域に根ざし、健康寿命の延伸を目的に社会医療法人「生長会」・帝塚山学院大学・グラントオーク百寿オークカフェ・NPO法人「団地ライフラボ at 茶山台」が活動を行い、出張カフェや健康体操、もみほぐしなどを実施。民生委員児童委員とも連携し、楽しみながら見守っています。(寶楽 まゆみ)

三原台校区  新しい住民と手を取りあって

当校区の福祉委員会は、「お元気ですか？訪問」担当の「ボランティアみはら」(女性)と、ふれあい喫茶担当の「ボランティアこぶし」(男性)を柱に活動しています。また、一人暮らしの人のお食事会やふるさと祭りなど、みんなが一堂に集い笑い合うイベントを企画・運営しています。

地域会館では楽笑クラブ、いきいきサロン、各種体操(元気もりもり、のりのりらくらく3B、チューブ)、コーラスハモリーナ等。運動はグラウンドゴルフ、卓球、ディスコン、インディアカ等で、ひきこもりがちな高齢者の活動をサポートしています。

パワーあふれる先輩たちが引退される時期でもあり、新しい住民と手を取りあってより活気あふれる町になるよう願っています。
(平澤 公子)

高倉台校区  「高倉台歩高会」
あるこう

当会は1996(平成8)年、校区福祉委員会健康歩行部として発足し、民生委員児童委員が活動に大きく関わってきました。当初、近郊緑道や奈良・京都などにウォーキングに出かけていました。近年は高齢化で遠方はなくなりました。2007年から、南区ボランティア連絡会に加入して、公園美化・緑道清掃などの活動もしています。校区ふれあい祭りでは、当会がゴミの回収、集積を担っています。以下は活動の概略です。

①例会(年間10回程度) 泉北ニュータウン内緑道を中心に堺市街地、大阪府下など半日~1日歩く、②「いのしし公園」の清掃(月2回)、③クリーンウォーキング(月2回)歩きながら校区緑道のゴミ回収。今は40人ほどですが、元気に活動を続けて次世代にバトンを渡せるように願っています。(大島 義朗)

高倉台西校区  地域との共存

当校区でも高齢化のため、若い世代が自治会活動に参加できる環境を模索しています。

校区の主な活動は、子育てフォーラム(年6回)、ワンツ一高倉(ワンツ一とは1丁2丁。食事や体操等月1回)。校区のふれあい祭りは大阪健康福祉短期大学の学園祭と合同開催し、地域との交流を図りつつ老若男女が参加してワイワイガヤガヤと楽しいお祭りを開催しています。当校区内に高蔵寺自治会の地車があり、10月に五穀豊穰などを祈願する勇壮なお祭りとして校区内を曳行し、秋の風物詩となっています。

地域、連合自治会と民生委員児童委員が協力して活動しています。
(浦辻 幸広)

校区めぐり

□ 北 区

光竜寺校区  **地域のつながりを大切に！**

現在、小学校は各学年1クラスです。仲よく地域の皆さんに見守っていただき、ときには高齢者の方が倒れていた時には子どもたちに見守ってもらったりする優しい校区です。高齢者が多く、家にこもりがちになりやすいことから、毎月1回映画鑑賞会を会館で上映しています。参加者はいつも楽しみにされています。

第3水曜日はふれあい喫茶があり、お菓子とコーヒーを無料で提供しています。民生委員児童委員と福祉委員でお世話させていただいています。

今まで人づきあいが苦手な人が、笑顔になって帰る姿を見た時に、これからも地域のつながりを大切に、民生委員児童委員一丸となって自治会の協力も得て活動していきたいと思っています。

(佐藤 恵美子)


大泉校区  **笑顔になれる町・住みたい町へ**

大泉緑地に隣接し、地下鉄御堂筋線新金岡駅前には区役所、大きなスーパーマーケット・病院・消防署・警察署・郵便局があり、利便性の高い校区です。ただ、高齢化率は高く少子化が進んで、小中一貫校の「大泉学園」も各学年1クラスしかありません。若い人の増加が期待される地域です。

民生委員児童委員は10人です。福祉委員会で校区の行事や見回り等の活動をしています。ボランティアビューロー「ちょこっと寄合所」は、月1回専門家の相談会をし、健康麻雀・裁縫・食事の提供等で、地域に暮らす人が交流する場所作りをしています。

子育て支援は「まめっこ広場」を土曜日に開催し、お父さんへの育児参加を呼びかけています。誰もが笑顔になれる町・住みたい町をめざして！

(北口 紀子)

新金岡校区  **気にかける つながる 支え合う**

当校区の世帯数は3,777、人口は8,069人。65歳以上の割合（高齢化率）は24.1%。昭和40年代に計画的に開発された集合住宅地域で、スポーツ施設の充実した金岡公園、大阪ろうさい病院を含む校区です。

民生委員児童委員・主任児童委員は12人、月2回開催のふれあい喫茶、月1回の「はとポッポ」

(子育てサークル)、年3回のふれあい食事会などの校区福祉委員会活動、たなばたまつり、校区夏まつり、スポーツ・やきいも大会などの世代間交流事業、校区自主防災活動などに参加して、地域住民との顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

毎月の定例会では、委員長会議以外の案件として、「気にかける、つながる、支え合う」の視点から、各委員が対応したケースを取り上げて情報共有し、地域課題の把握と意見交換を行っています。

(曾田 富美男)

新金岡東校区  **地域のつながりづくり**

当校区は、築55年以上の古い団地群です。高齢化率37.6%と高く、孤立の案件が増えているように思います。

つながり作りのための「いきいきサロン」「子育てサークル」は、多くの人に参加していただけるよう趣向をこらし、笑顔の絶えない活動になっています。本年度は4年ぶりに「あそぼう会」を開催予定です。

「お元気ですか訪問活動」では、私たちの訪問を楽しみにしてくださる人が増え、やりがいを感じています。

感染症まん延後の生活環境の変化は今も心身ともに不安をもたらすものとなりましたが、地域の人々の心配に耳を傾け、少しでもその不安が解消されるよう、民生委員児童委員一丸となってこれからも活動していきます。

(米田 典子)

金岡校区  **地域に根ざした活動**

当校区は古くからの町で、各世代の人々が住んでいます。そのため、地域の各団体との交流が活発です。

民生委員児童委員は校区福祉委員会の「ボランティア金岡」に属し、地域のメンバーさんと総勢52人で活動しています。今年は「ボランティア金岡」結成40年記念式典を開催し、歴史と地域に根ざした活動を改めて認識しました。

いきいきサロン、ふれあい会、子育て支援、小学校・高齢者施設支援、「喫茶ドリーム」、ボランティアビューロー、お元気ですか訪問活動、広報紙『福祉かなおか』の発行、高齢者や児童の見守りなどの活動を通じて、地域の安全安心な住みやすい町にしたいと思います。

(山田 雅子)



民生委員児童委員協議会が赤い羽根街頭募金

のべ5日 220人超が活動



南海高野線中百舌鳥駅前（南北）で、たすき掛けして募金活動をする北区民生委員児童委員協議会の委員



南海高野線初芝駅前での募金活動をする東区民生委員児童委員協議会の委員



協が街頭募金を実施し、市内10か所220人超の委員参加により155,757円集まりました。

各委員は、「堺市民生委員児童委員」などのたすきを掛け、通行人に「赤い羽根の共同募金にご協力をお願いします」と声をかけていました。

なお、西区・南区民児協は衆議院選挙の駅前街頭演説などの影響で実施できず、両区それぞれ3万円ずつ堺地区募金会へ募金しました。

南海高野線堺東駅前と南海本線堺駅前では堺区民児協、9日は北野田駅前・初芝駅前でも東区民児協、11日は深井駅前でも中区民児協、15日はピバモール美原南インター店前・万代美原店前で美原区民児協、16日は堺市・中百舌鳥・北花田駅前でも北区民児協、16日は堺市・中百舌鳥・北花田駅前でも北区民児協

堺東駅前など10か所で

堺市民児連の区民生委員児童委員協議会（以下「区民児協」）は、令和6年10月8日から16日、JR・私鉄主要駅や大型商業施設などで街頭募金を実施しました。

8日、南海高野線堺東駅前と南海本線堺駅前では堺区民児協、9日は北野田駅前・初芝駅前でも東区民児協、11日は深井駅前でも中区民児協、15日はピバモール美原南インター店前・万代美原店前で美原区民児協、16日は堺市・中百舌鳥・北花田駅前でも北区民児協

御霊よ 安らかに

- 令和6年7月31日没
竹城台校区 中山 善郎 様
- 令和6年10月8日没
大仙西校区 中田 継夫 様
- 令和6年11月12日没
久世校区 中辻 茂行 様

編集後記

本72号の編集において、来年度の民生委員児童委員一斉改選の日程にしたがい、次号および退任記念文集の発行時期等を検討いたしました。あわせて、今年度の委員長研修会開催記事（特集）の掲載が、次号の予定となりました。

「校区めぐり」の記事は次号掲載で全校区完了です。

『みんじれん堺』は年間2回の発行ですが、緻密な工程作りの上で発行されています。

民生委員児童委員および主任児童委員の日々の活動に役立つことを念頭に、編集会議が行われています。

本72号が校区委員会で話題になればうれしい限りです。

浜寺校区
岸村 伸一